

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2025年3月3日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内) 担当 仲田 修
TEL 052-901-0338

Vol. 37 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校並びに卒業生のご協力を得て編集発行しています。

今日からスタート！

同窓会会長 山本裕康(4回生)

北高校同窓会々員の皆様には、ますますご活躍のことと思います。

昨年は年明けに「能登半島地震」が発生し、9月には復興に追い打ちを掛けるかのように集中豪雨が襲いました。被災された方々の落胆は計り知れないものがあります。心からお見舞い申し上げます。また、昨年は猛暑が延々と続いたかと思う一方、地域によってはこの冬のドカ雪に悩まされ、異常気象に戦々恐々とする時代に入ったように思われます。

政経面では、昨年の衆議院選挙で与党が過半数割れの事態となり、野党と対話・協調せざるを得ない状況が作り出されました。また、米国ではトランプ氏が大統領に返り咲き各国が対応に苦慮している状況となっています。このような中で明るいニュースと言えばパリオリンピックでの選手の活躍と、大リーグでの大谷翔平選手の「50-50」の達成を始めとする大活躍に癒されたことでしょうか？

さて、今年卒業された皆さん。ご卒業おめでとうございます。卒業と同時に同窓会に入会となります。皆さんの入会を心から歓迎いたします。保護者様をはじめご家族、恩師、先輩や同僚、後輩など、あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにして下さい。皆さんは60回生になります。在校中の3年間は如何でしたか？高校生活を満喫できましたか？皆さんの夢に近づけましたか？今日からは新たな目標に向け、一步を踏み出します。「今日からスタート」です。

今年も8月に「若者のつどい」を開催します。同窓会としては、本来なら60周年を迎えるわけですので、大々的に北高の卒業生全員に案内を出し、記念行事などを行いたいところですが、個

人情報保護の観点から近年住所管理が出来ていません。従いまして、今年も例年通り60回生だけで実施したいと思います。先輩諸氏には大変申し訳ないと思いますがお許しいただきたくお願い申し上げます。良い方法があればご教示くださると幸いです。60回生の皆さんとは半年後にお会いできると思いますので、その時には元気な姿を見せてください。(8月の土曜日か日曜日)に「若者のつどい」を開催したいと思います。詳細は別途連絡いたします。昨年から郵便による連絡ではなく、各クラスの幹事さんから「ライン」を活用して通知や出欠の確認をしています。大変スムーズに機能していると感じています。卒業年次毎でラインのグループを作って運用していただけると幸いです。

最近の中日新聞に在校生の活躍が2点掲載されていましてご紹介します。一つはキャリア教育の一環として活動しているイベント企画チームの「味鮑いも」の「北北(ホクホク)あじまスイーツ」という和菓子としての商品化、もう一つは放送部による自転車利用者へのヘルメット着用を促すパトカー用アナウンス音源の制作です。その他の部活も頑張っているようで嬉しく思います。

今年は「乙巳」です。柔軟性と直感を大切にする年、新たな可能性を切り開いてください。今後とも、同窓会へのご理解・ご協力・積極的なご参加をお願いするとともに、同窓会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

令和6年度 卒業生対象の行事 (令和7年同窓会若者のつどい)

- ・令和7年8月16日(土)開催予定です。
- ・5 or 6月にクラス同窓会委員会を招集します。
- ・卒業生にはline等で連絡します。

北 高 近 況

校 長 船 越 一 裕

同窓会会員の皆様こんにちは。本年度より北高は始業時間を9:00とし、新制服を導入いたしました。始業時間を遅らせる事や制服の大幅改定は北高始まって以来の事です。少しずつではありますが、北高も改革を進めております。また、本年度の卒業生はちょうど第60回を迎える事になります。昭和38年4月に開校し昭和41年3月に第1回卒業生を輩出してから60年の月日がたちました。人生でいえば還暦に当たります。長い間北高校が続いてきましたのもOBの皆様方の温かい支援があつての事です。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、北高は様々な機関と連携して地域貢献を始めています。いくつかご紹介します。新聞にも掲載されましたが、地場産業を学ぶということで味蓴芋の栽培を始めました。こちらは豊山の秀清堂様と一緒にスイーツにしてJAのお祭りなどで販売しました。なかなか好評でした。また、北警察署とコラボして交通安全運動の啓発と放送部が警邏中のパトカーから流す音声を担当しました。北区を警邏中のパトカーから交通安全や自転車盗難防止の放送が聞こえたら、それは北高放送部員の声です。楠支所のイベント楠フェスタには音楽部の合唱と有志によるマジックショーで参加しました。地域の皆さんにもたくさん来ていただいて盛況な会となりました。北区役所との連携では昨年度の段ボールタウンプロジェクトから発展してサステナブルな街作りに参加しています。このように地域の皆様から北高に声をかけていただけるのは大変ありがたいことです。

最後に文化祭で行うPTAバザー用に北高オリジナルタオルを制作しました。北高の建学の精神「質実剛健」をモチーフにキタシカさんをいれてデザインしてもらいました。OBの皆さんにも一部購入いただきました。

これからも様々なことにチャレンジしてまいりますので、どうか北高を応援してください。

北 高 質 実 剛 健 北
NAGOYA CITY KITA SENIOR HIGH SCHOOL

愛される北高校に

教 頭 野 中 宏

今年度、4月より新任教頭として北高校に赴任致しました。赴任が決まった後、部活動の大会で、他校の顧問の先生に声をかけられたのですが、その方のご主人も北高校の卒業生であること、そしてそのご主人が自身の出身校である北高校のことをとても誇りにしているとのことでした。実はこのことがとても印象深く残っております。その後の7月の「若者の集い」では、同窓会長の山本さんとともに昨年の卒業生である若手同窓生が積極的に参加している姿や、9月の文化祭にはかつて北高校で学んだ保護者の方や、幅広い年代の卒業生の方が多数来校されるのを見るにつけ、つくづく「この学校は同窓生に愛されているんだな。」と感じております。

時代の流れや、その時々状況に応じた進学状況や部活動の状況を始め、学校の様相も様々に変わっていくかと思えます。しかし形は変わっても「同窓生に愛される北高校」は変わらず、ずっとそう在り続けてほしいものだと思います。この一年、北高校の新しい取り組みをそばで見させていただきお手伝いもさせていただきながら、北高校の意気込みを感じているところです。今年から、制服もスクールカラーのえんじ色を基調とした、温かい感じのブレザータイプに生まれ変わりました。交通不便な立地の中、始業時刻を9:00に変更し、朝の時間にゆとりを持たせています。平成27年に開設された国際理解コースの教育活動を起点に、地域にとらわれず格式張らず、より身近に国際交流が体験できる環境作りにも努めています。そして、部活動生徒や有志の生徒が中心となって、地域への貢献や地域との連携にも積極的に取り組み、地域に愛される北高校を目指しています。

北高校の現役高校生が、北高校で充実した学校生活を送り、やがては北高校を愛する同窓生となって北高校を見守ってくれるよう、私も微力ながら力を尽くしていきたいと思っています。

北高の思い出

第60回卒業生 水谷 姫菜

長いようで短かった3年間。私にとって北高での毎日は本当に刺激的で楽しいものでした。入学当初は新しい環境で馴染めるか不安を感じていました。しかし、素晴らしい仲間との出会いに恵まれ、充実した日々を送ることができました。

個性豊かなクラスメイトとの出会いは印象深く、特に文化祭や体育祭などの行事では準備や練習を通じて、仲間との絆がより深まっていくのを肌で感じました。合唱で仲間と心を通わした音楽部での活動も忘れられません。学年やパートを問わず接してくれる仲間の中で3年間歌い続け、努力の末に立てた大きな舞台での演奏は今も鮮明に覚えています。また生徒会に入ってから自分の世界がより広がり、同じ生徒会の仲間と共に学校の発展に尽力した日々は今も私の誇りです。

この3年間で得た経験や出会いのおかげで私は多くの困難を乗り越えられたと思っています。特に3年生になってからはこの恩恵を多く実感しました。例えば、受験直前で不安が大きくなった時に友人や先生方からもらった励ましの言葉のおかげで前向きな気持ちで受験当日を迎えることができました。このような優しさを受け取る度に自分が周囲からどれだけ支えられているかを実感でき、心温かい気持ちになります。だからこそ卒業したらこの高校生活が終わってしまうことを考えると寂しいです。ですがそれとは反対にこの先の未来でどんな出会いや経験をするのかを考えるとワクワクします。

最後に、皆さんがこれからそれぞれの道を歩む中で困難に直面することもあると思います。その際には、まず北高の3年間で得た経験を思い出してみてください。それでもうまくいかない時は、周りの人を頼ってみてください。きっと皆さんが再び前に進むための助けとなってくれます。

同窓会活動

第29回生・会社役員 織田 敏之

私が北高校を卒業したのは平成6年3月、既に卒業から30年が経過している。高校生活は私の50年近く的人生の中のたった3年間である。しかしながら、高校時代の思い出はなぜか今でも特別な輝きを放ち、人生を振り返った時あれほど楽しかった時間はない。今でも多くの高校時代の同期や後輩たちと食事に出かけている。

1年生の時は音楽部に入りとても大変でしたが、強豪校だったので車山高原での夏合宿や福井県への遠征、他校との合同演奏会など貴重な経験が出来ました。2年生の時から生徒会活動に没頭し、学園祭の時は深夜までほぼ泊まり込み状態で準備をしました。3年生になると私は絶対に浪人したくなかったので、それなりに勉強をして愛知大学に現役合格することが出来ました。大学時代が楽しくなかったわけではないが、高校卒業後も私はしばらくの間、高

校の生徒会室に通い先生方には4年生と揶揄されるほどであった。

そんな流れもあって私は卒業以来ずっと同窓会活動に参加しています。学生時代の私にとって同窓会活動の醍醐味は、社会で活躍していらっしゃる先輩方のお話が聞けるということでした。まだインターネットが発達していないころでしたので、大学生が様々な業種の仕事について聞くことが出来るのは滅多にないチャンスでした。私は大学卒業後まもなくして起業しましたが、その際高校や大学の同窓会でお世話になった方のご協力もあって、今現在も事業を継続できていると感謝しております。

北高同窓会は毎年夏に開催される「若者のつどい」のサポートを行い、以前は5年おきに今は10年おきに全体の同窓会を企画しています。是非多くの卒業生みなさんに同窓会活動に参加していただきたいと思います。高校の評判と同窓生の活躍はとても密接な関係にあります。この素晴らしい北高校での3年間で未来の後輩たちに繋げていくためにも、君たちのこれからの活躍を大いに期待しています。

ぜひとも同窓会活動にご参加ください

一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してきましたが、約10年毎に変更します。
50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。

二 毎年夏に「若者の集い」の開催
新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。

三 同窓会名簿の作成と住所管理
全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(株サルト)に依頼しています。

四 「北高同窓会だより」の発行
年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。

〈第59回卒業生若者のつどい〉

令和6年8月31日開催



卒業生の希望をメニューに入れたビュッフェスタイルです。5名の担任の先生も参加されました。実行委員の努力と参加者の協力でとても楽しい集いでした。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が参加されることを期待します。



文化祭

今年度からコロナ以前に実施していた一般招待が復活しました。全体に盛り上がり、校内公開や一般公開を楽しめ生徒や保護者のみならず他校の生徒の姿も多く見られ、コロナ以前の活気が戻ってきたことが感じられました。



2024 Spring
新しい制服、はじまる

新制服

令和6年度入学生より制服が変わりました。開校以来60年、初めて制服が一新されました。